

1 開会及び閉会に関する事項

開 会 令和7年1月9日(木) 午後3時

閉 会 令和7年1月9日(木) 午後3時50分

2 出席委員の氏名

教育長 吉良 智恵美

教育長職務代理者 津留 武芳

委員 寺下 早苗

委員 大村 詠一

委員 坂梨 裕史

3 委員及び傍聴人を除く外、議場に出席した者の氏名

教育部部長 羽熊 幸治

教育部次長 境 敬一郎

教育委員会教育部学校教育課長兼教育支援センター長 高橋 和秀

教育委員会教育部学校教育課審議員兼指導主事 志賀 裕美

教育委員会教育部教育施設課長 津田 三千人

教育委員会教育部生涯学習課長兼歴史文化伝承館長 佐藤 純一

教育委員会教育部学校教育課教育推進係長 岡村 海咲

教育委員会教育部学校教育課学務係長 桐原 智之

4 公開の審議

津留代理者 「3 公開の審議」をお願いします。

寺下委員 本日の議題については、大津町教育委員会会議公開規程第3条に該当する非公開の案件はありません。

津留代理者 ただいまの報告のとおり、非公開とすべき議案は無いとのことですので、今回の議案につきまして、公開といたします。

5 傍聴人の有無

無し

6 議題及び動議を提出した者の氏名

①令和7年度授業日数について

(志賀審議員)

7 質問及び討論

①について【会議公開・審議公開】

質疑 中学3年生の授業日数は例年と比べて変わらないか。

答弁 同程度の日数です。

質疑 余剰分は昨年と比べてどの程度か。

答弁 あまり変わりはありません。

質疑 昨年も話題になったと思うが、学校行事などは余剰分で実施するため、あまり減らし過ぎると授業時数に影響が出る可能性があるという認識でよいか。

答弁 総時数と標準時数との差については、教務主任会においても話をしたところです。時数確保が一番厳しいのが小学校5年生で、学校行事を含めており、集団宿泊等を入れていくと毎年難しい状況です。特にインフルエンザ等により学級閉鎖や学年閉鎖があったりすると更に難しくなるため、学校裁量として若干の余剰があることで、標準時数を下回ることなく、柔軟に対応することができると思っています。

質疑 学校裁量による授業時間短縮について報道等があったが、何か情報があればお尋ねしたい。

答弁 正式な通知などはありませんが、次の学習指導要領の改訂に向けた動きの中で、国が検討している段階であると認識しています。1コマの授業時間を5分短縮して生じた余剰時間を個別学習に充てたり、学習進度に応じた学びをしやすいことを想定しているようです。

意見 どのような基準で組み込んでいくなど考える必要がある。引き続き、情報収集に努めてほしい。

8 議事の概要及び議決

①令和7年度授業日数について

原案承認

(教育長) それでは、提案された議題については上記のとおり決定してよろしいですか。

(委員全員) 異議なし